

2021年6月

社会経済史学会 WEHC2022 参加支援プログラム募集要項

1. 支援プログラムの趣旨

この支援プログラムは、2022年7月25日～7月29日にパリで開催予定の第19回世界経済史会議（WEHC 2022）への若手研究者の積極的参加を促すことを目的としています。

すでにパネル・セッションの採択結果が発表され、現在、博士論文セッションとポスター・セッション、また、今回新しく導入された ICT 技術の経済史研究への活用に関するセッション（デジタル・ヒューマニティーズ・セッション）について募集が行われています。

本支援プログラムによって、WEHC2022に参加を予定する研究グループがより多くの若手研究者をメンバーに加えたセッションを構成することが期待されます。また、若手研究者がポスター・セッションや博士論文セッション、発表者を募っているセッションに積極的に参加することも期待されます。

2. 対象

大学院博士課程在籍者、PD・助教、及びおおむね40歳までの准教授等で、WEHC2022において、パネル、ポスター、博士論文、デジタル・ヒューマニティーズの各セッションにおいて報告することがすでに決まっている者またはそれを予定している者。

本プログラムへの応募は、上記に該当する報告（予定）者個人とします。

3. 支援の内容

支援額は一人あたり10万円以内とし、以下の内容に対して支援します。

- ・ 報告用論文作成に必要な英文校閲料
- ・ 参加予定セッションの準備研究会に参加するための旅費・宿泊費
- ・ WEHC2022参加登録料
- ・ WEHC2022に参加するための旅費・宿泊費

4. 募集人数

10名程度（第一次募集7名程度、第二次募集若干名）

5. 提出書類

応募用紙（指定フォーマットに入力し、メールに添付して提出）

6. 書類提出先

社会経済史学会事務局 sehs@kurenai.waseda.jp

7. 支援プログラムの内容についての問い合わせ

社会経済史学会国際交流委員会・委員長 山本千映 cy@econ.osaka-u.ac.jp

8. 提出期限

ポスター・セッションとデジタル・ヒューマニティーズ・セッションの選考結果公表が2022年1月15日、博士論文セッションの最終候補者発表が2022年3月1日であることを踏まえて、二回に分けて募集します。

- ・ 第一次募集締切：2021年10月29日（金） (7名程度)
- ・ 第二次募集締切：2022年4月1日（金） (若干名)